行田 歴史系譜 241

いにしえの行田を探る 13

埼玉古墳群を支えたムラ

埼玉古墳群を築いた権力者は、多くの集落を支配し、たくさんの人々を古墳の築造に動員したと思われます。

埼玉古墳群を築いた権力者の本拠地である館がどこにあったかはいまだに謎ですが、その館の存在の可能性が指摘されている遺跡が、下忍地区にある高畑遺跡です。高畑遺跡では、一辺26メートル以上の方形に巡ると思われる溝の一部が検出されており、埼玉古墳群を築いた権力者の館を巡る堀ではないかとも考えられています。高畑遺跡は埼玉古墳群の築造が始まる少し前の5世紀中ごろより集落が営まれ始め、6世紀前半ごろに規模が最も大きくなるようです。しかしながら、6世紀後半ごろには急速に規模が小さくなってしまうようです。このころはまだ埼玉古墳群では大型古墳の築造が続けられており、古墳群の成立を支えた集落であったのかもしれませんが、最後まで古墳群を支え続けた集落とはいえないようです。

小針遺跡（平成17年撮影）

埼玉古墳群の築造に直接関わった集落と考えられているのが、小針クリーンセンター周辺に広がる小針遺跡です。埼玉古墳群の築造が始まった5世紀後半ごろより一時廃絶していた集落が再び営まれ始め、市内有数の大規模集落に成長して平安時代まで連綿と続きます。この集落では6世紀後半になると、精選された粘土を用いて堅緻に焼き上げられた小針型と呼ばれる特徴的な白色の土師器坏が使われるようになります。この白色の小針型坏が埼玉古墳群の瓦塚古墳、鉄砲山古墳、埼玉5号墳に供献されていることから、小針遺跡の人々が埼玉古墳群の築造に直接関わっていたと考えられています。

また、行田みなみ産業団地周辺に広がる築道下遺跡は、5世紀後半～平安時代にかけての竪穴住居跡が約800軒ほど検出された市内有数の大規模集落遺跡です。この遺跡からは、埼玉古墳群の将軍山古墳の石室に使われているものと同様の千葉県産房州石の砥石が多く出土しており、元荒川などを利用して将軍山古墳の石室の石材の運搬に関わった集落ではないかと考えられています。

埼玉古墳群を築いた権力者は、これらの集落を含む多くの集落を掌握・支配していたものと推測されます。

（文化財保護課　中島洋一）

こぜにちゃんが行く！ with フラべぇ

うきしろちゃん

このコーナーでは、行田の歴史や名所、名物などを行田ゼリーフライキャラクターのこぜにちゃんが分かりやすく紹介します。

「浮き城」と呼ばれた忍城をモチーフに、浮き輪をしたお城のキャラクター「うきしろちゃん」。

市内の印刷会社の皆さんが考案したとてもかわいいキャラクターで、平成24年10月に「行田ゆるキャラ観光大使」に任命されたんだ。行田の魅力を全国に発信するため、いろいろなイベントに参加して頑張っているよ。

それから足元に注目。足袋を履いているのに気が付きましたか。行田の魅力が詰まった「うきしろちゃん」をこれからも応援してね。

今月の表紙　3月15日、見沼元圦公園付近の田んぼで行田青年会議所主催のイベント「晴れときどきあぜ道」が開催されました。

このイベントでは、行田在来青大豆と行田産小麦粉を使用した「青年のあぜ道希望鍋」や、米や小麦粉を混ぜて焼き、みそを付けて食べる郷土料理「やきびん」が振る舞われました。また、かかし作り体験も行われ、子供たちは自分だけのオリジナルのかかしができるとうれしそうな表情を浮かべていました。

■市報ぎょうだに掲載されているあなたの写真を差し上げます。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当（内線 318）まで。
■市民の皆さんの市政に対するご意見をお待ちしています。
■市報を CD－R に録音したものを希望者宅にお届けします。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当（内線 318）までご連絡ください。

VEGETABLE OIL INK 環境にやさしい植物油インキ
市報ぎょうだは再生紙を使用しています

■編集・発行／行田市総合政策部広報広聴課
〒361－8601 行田市本丸2番5号
TEL 556－1111 FAX 550－2116